

重度訪問介護従業者養成研修統合課程
情報開示

情報の種類	内容
法人情報	●法人格・法人名称・住所等 株式会社 土屋 岡山県井原市井原町192番地2久安セントラルビル2階 代表取締役 大山敏之 ●代表者名、研修事業担当理事・取締役名 土屋ケアカレッジ 研修事業者担当理事・取締役五十嵐憲幸
研修機関情報	●事業所名称・住所等 土屋ケアカレッジ 那覇教室 〒902-0067 沖縄県那覇市安里388-136 友寄ビル201 ●理念 介護に携わる者が、業務を遂行する上で最低限の知識・技術とそれを実践する際の考え方のプロセスを身につけ、基本的な介護業務を行うことができるようにすることを目的として実施する。 ●学則 「学則」のとおり ●研修施設、整備 【研修施設】 (講義) 沖縄県沖縄市諸見里3丁目47-26 セミナーハウス ゆいまあ〜る (演習) 沖縄県沖縄市諸見里3丁目47-26 セミナーハウス ゆいまあ〜る 実習施設(事業所) セミナーハウス ゆいまあ〜る、生活サポートセンターまあ〜る ホームケア土屋沖縄くくる、ホームケア土屋沖縄 【整備】 吸引器 2セット シミュレーター 2セット 経管栄養セット 2セット ベッド 2台 車椅子2台

	タオル、紙おむつ、パジャマ 文字盤 2セット
研修の概要	●対象 重度訪問介護従業者として従事することを希望する者。 通学ができる者。 ●研修のスケジュール(期間、日程、時間数) 「コーススケジュール」「研修カリキュラム」のとおり ●定員(集合研修、実習)と指導者数 ・定員10名 ・指導者数 「講師一覧表」のとおり ●研修受講までの流れ 「学則」受講申込方法のとおり ●費用 「学則」研修受講料のとおり ●留意事項、特徴、受講者へのメッセージ等 【留意事項】 受講開始から2か月以内に修了するものとする。 研修の受講に際して、受講申し込み受付時又は、研修開始日に本人確認を行うことが義務付けられておりますので、ご協力お願いいたします。本人確認の方法は、以下の公的証明書の提出により行うものとしますので、いずれか1つを必ずご持参ください。 【特徴】 この研修は、重度の障害をお持ちの方々への介護技術などに関する講習と実習、又、人形を使った演習などを行います。この研修を修了した方は、重度訪問介護に従事することができるようになります。また研修修了後、看護師らの指導の下で実地研修を行った後に、特定の利用者に限り、吸引や経管栄養などの医療的ケアを実施できるようになります。 【受講者へのメッセージ】 基本的なことから丁寧にお伝えいたします。分からないことは分からないままにせず、講師にたくさん質問し、生きた知識となるようにしましょう。 困ったこと、不安なことがありましたらお気軽にお問い合わせください。
課程責任者	土屋ケアカレッジ 運営マネージャー 幸 将史
研修カリキュラム	●科目別シラバス 「研修カリキュラム」のとおり

	●科目別担当教官名 「講師一覧表」のとおりに ●科目別特徴 演習の場合は、実技内容・備品、指導体制 「研修カリキュラム」のとおりに ・演習の指導体制 3人もしくは2人一組で実技・演習を行う。 資格を有する担当看護師講師と協力事業所担当者と実際の支援に基づいた演習指導を行う。 研修終了後、就業に向けた振り返りを行う。 【備品】 吸引器 2セット シミュレーター 2セット 経管栄養セット 2セット ベッド 2台 車椅子2台 タオル、紙おむつ、パジャマ 文字盤 2セット
(通信)	●科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間 「研修のカリキュラム」のとおりに ●通信課程の教材・指導体制・指導方法・課題 オンラインミーティングツール、zoom を使用した遠隔授業。 対象科目について、担当講師がオンライン上で講義をライブ配信する。受講生はあらかじめ通知された URL にて視聴する。質問は Zoom の QA 機能、チャット機能、発言可能機能により、講師が適宜受付け、その場で回答することを基本とする。オンライン授業中は全時間帯にわたり、受講状況および受講態度を確認するための管理視聴者を 1 名配置して実施する。 【使用テキスト】 喀痰吸引等研修テキスト 全国自立生活センター協議会
修了評価	●終了評価の方法 「学則」研修修了の認定方法のとおりに ●評価者、再履修等の基準 【評価者】 「研修カリキュラム」の担当講師 【再履修等の基準】 100点満点中90点以上で合格。

実習施設 (実習を行う場合)	不合格ならば、フィードバック後、再テストを実施。 ●協力実習機関の名称・住所等 ●協力実習機関の介護保険事業の概要 ・生活サポートセンターまあ〜る 施設種別:生活介護 沖縄県北谷町字上勢頭544番地5号 ・ヘルパーステーションくる 沖縄県沖縄市諸見里3丁目47番14号 施設種別:訪問介護 居宅介護 重度訪問介護 同行援護 ・ホームケア土屋沖縄 沖縄県那覇市安謝2丁目22-27 The 天てらす404号室 施設種別:重度訪問介護 居宅介護 ●協力実習機関の演習担当者名 「研修カリキュラム」の担当講師のとおり ●実習プログラム内容、プログラムの特色 【基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習】 基礎的な介護技術を習得することで現場にスムーズに対応できるようにする。 また、コミュニケーションについて学ぶことで、重度の肢体不自由者との関係性の構築につなげる。 【外出時の介護技術に関する実習】 車イスでの移動を体験することで、重度の肢体不自由者が置かれている状況を体験し、安全な操作がいかに重要か理解する。 【重度障害者の介護サービス提供現場での実習】 実際の介護現場を体験し、また当事者視点で必要とされる介護職員としての心構えを学ぶことによって、介護職員としての資質を高める。 ●実習中の指導体制・内容（振り返り、実習指導等） 資格を有する講師が衣類の着脱、オムツ交換等、実際に現場で使用する介護技術についてや、実際の現場でのコミュニケーションの取り方の指導や障害当事者の方にご協力頂き、当事者視点で求められる介護職員としての心構えなどを指導する。 研修終了後、就業に向けた振り返りを行う。
---------------------------	--

	●協力実習機関における延べ人数 164人
講師情報	●名前 ●略歴、現職、資格 「居宅介護職員初任者等養成研修事業講師一覧表」の通り
実績情報	●過去の研修実施回数(年度ごと) 令和3年度：10回 令和4年度：14回 令和5年度：18回 令和6年度：19回 令和7年度：11回(R7年12月現在) ●過去の研修延べ参加人数(年度ごと) 令和3年度：23名 令和4年度：34名 令和5年度：47名 令和6年度：33名 令和7年度：18名(R7年12月現在)
連絡先	●お申込み・資料請求先 土屋ケアカレッジ 運営事務局 TEL：050-3138-2024 Mail:college@care-tsuchiya.com Web: https://tcy-carecollege.com/ ●法人の苦情対応者名・役職・連絡先 苦情対応部署:株式会社土屋 土屋ケアカレッジ運営事務局 苦情担当窓口 電話 050-3138-2024 土屋ケアカレッジ代表 五十嵐憲幸 ●事業所の苦情対応者名・役職・連絡先 幸 将史 運営マネージャー 電話 080 - 4878 - 6544

居宅介護職員初任者等養成研修学則

居宅介護職員初任者等養成研修事業について、「沖縄県居宅介護職員初任者等養成研修事業指定事務取扱要領」に基づき、次のとおり説明します。この内容は重要ですから、十分理解のうえ、受講いただきますようお願いします。

説明年月日 年 月 日
説明者 所属 氏名 印

研修事業概要	事業者名	株式会社土屋
	代表者職氏名	大山敏之
	資本金	8000万円
	主たる事務所の所在地	岡山県井原市井原町192-2 久安セントラルビル2階
	研修事業を実施する事業所の所在地	沖縄県那覇市安里388-136友寄ビル201
	委託事業者 (委託を行う場合のみ)	委託事業者は行わない
	問い合わせ先	050-3138-2024
研修内容概要	開講の目的	地域で生活される重度の障害をお持ちの方々に対する、医療的ケアも含めた重度訪問介護サービスの提供
	研修の名称	土屋ケアカレッジ那覇教室 重度訪問介護従業者養成研修統合課程
	課程及び講義の方法	重度訪問介護従業者養成研修（統合課程） 通学形式 一部オンライン形式
	使用テキスト	喀痰吸引等研修テキスト 全国自立生活センター協議会
	受講資格	沖縄県内在住で通学可能なもの
	受講定員	10名
	募集期間	令和8年1月1日～令和9年3月23日
	研修期間	以下の予定で月2回実施 なお受講開始から2か月以内に修了するものとする 令和8年4月8日～令和9年3月25日
研修内容概要	研修カリキュラム及び講師	別紙 「研修カリキュラム」 参照
	研修実施場所(講義)	沖縄県沖縄市諸見里3丁目47-26 セミナーハウス ゆいまあ〜る
	研修実施場所(演習)	沖縄県沖縄市諸見里3丁目47-26 セミナーハウス ゆいまあ〜る

受講申込手続き概要	実習施設(事業所)	セミナーハウス ゆいまあ〜る
		ホームケア土屋沖縄くくる
		ホームケア土屋沖縄、生活サポートセンターまあ〜る
	免除科目の規程	科目の免除は行わない
	研修修了の認定方法	(1) 出欠の確認方法 研修時に点呼する (2) 成績の評定方法 研修終了時に修了試験を実施する (3) 修了の認定方法 修了試験の90%以上得点したものを修了者として認定する
	修了証明書の交付	修了を認定されたものには、当法人において修了証明書および修了証明書(携帯用)を交付する 修了証明書の紛失などがあった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。再発行にかかる手数料については、2,000円+発送費用を修了者の負担とする
	補講の実施方法 (補講にかかる費用等の取扱い)	10分以上の遅刻または早退をした場合欠席とする 欠席した場合、2か月以内に別日程の当研修を受講することで補講とする 補講は無料で受けられるものとする
	他事業者での補講 (必要な場合のみ)	他事業所での補講は行わない
	損害賠償規程	受講中に生じた事故等は、その状況に応じて当事者と協議の上、損害賠償の範囲を定め対応する。
受講申込方法	受講申込方法	研修の申し込みは電話(050-3138-2024)・ホームページ・web等にて行う。 申し込み時、以下の内容を確認する ①氏名 ②性別 ③生年月日、年齢 ④郵便番号、住所 ⑤電話番号 ⑥希望の研修日程 ⑦所属団体(介助歴) ⑧現在取得している資格 本人確認の方法は、以下の公的証明書の提出により行う。 以下のいずれか1つを研修時に必ず持参。 ①運転免許証の提示 ②健康保険証の提示 ③パスポートの提示 ④在留カードなどの提示 ⑤住民基本台帳カードの提示
	研修受講料 (テキスト代及び消費税含む)	受講料 30,000円(税込み、実習費、テキスト代含む)
	受講料補助制度	受講料補助制度は無し
	解約規程	(1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者 (2) 研修の秩序を乱し、その他受講者としての本文に反した者 (3) 反社会的勢力またはその関係者と認められる者
	沖縄県への報告	修了者を修了者台帳に記載し、永久保存するとともに、沖縄県が指定した様式に基づき知事に報告する。
	その他研修受講に関する規程	この学則に必要な細則並びにこの学則に定めない事項で必要があると認められるときは、当法人がこれを定める。

コーススケジュール

【全22回日程】

【第1回】	令和 8 年 4 月 8 日	～	令和 8 年 4 月 9 日
【第2回】	令和 8 年 4 月 22 日	～	令和 8 年 4 月 23 日
【第3回】	令和 8 年 5 月 13 日	～	令和 8 年 5 月 14 日
【第4回】	令和 8 年 5 月 27 日	～	令和 8 年 5 月 28 日
【第5回】	令和 8 年 6 月 10 日	～	令和 8 年 6 月 11 日
【第6回】	令和 8 年 6 月 24 日	～	令和 8 年 6 月 25 日
【第7回】	令和 8 年 7 月 8 日	～	令和 8 年 7 月 9 日
【第8回】	令和 8 年 7 月 22 日	～	令和 8 年 7 月 23 日
【第9回】	令和 8 年 9 月 9 日	～	令和 8 年 9 月 10 日
【第10回】	令和 8 年 9 月 23 日	～	令和 8 年 9 月 24 日
【第11回】	令和 8 年 10 月 14 日	～	令和 8 年 10 月 15 日
【第12回】	令和 8 年 10 月 28 日	～	令和 8 年 10 月 29 日
【第13回】	令和 8 年 11 月 11 日	～	令和 8 年 11 月 12 日
【第14回】	令和 8 年 11 月 25 日	～	令和 8 年 11 月 26 日
【第15回】	令和 8 年 12 月 9 日	～	令和 8 年 12 月 10 日
【第16回】	令和 8 年 12 月 23 日	～	令和 8 年 12 月 24 日
【第17回】	令和 9 年 1 月 13 日	～	令和 9 年 1 月 14 日
【第18回】	令和 9 年 1 月 27 日	～	令和 9 年 1 月 28 日
【第19回】	令和 9 年 2 月 10 日	～	令和 9 年 2 月 11 日
【第20回】	令和 9 年 2 月 24 日	～	令和 9 年 2 月 25 日
【第21回】	令和 9 年 3 月 10 日	～	令和 9 年 3 月 11 日
【第22回】	令和 9 年 3 月 24 日	～	令和 9 年 3 月 25 日

研 修 カ リ キ ュ ラ ム

研修事業者名 株式会社土屋

研修の名称及び課程 土屋ケアカレッジ那覇教室重度訪問介護従業者養成研修統合課程
 重度訪問介護従業者養成研修統合課程

日程	時間	教 科 名	内 容	担当講師
研修日程 の1日目 (オンライン)	9:30 ～11:30	重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義	重度肢体不自由者の地域生活及び、当事者への理解について学ぶ	魯山香織 中原しのぶ 加納康行 細井俊一 林崇
	11:40 ～12:40	基礎的な介護技術に関する講義	基礎的な介護技術に関する講義	魯山香織 中原しのぶ 加納康行 細井俊一 林崇
	13:30 ～15:30	コミュニケーションの技術に関する講義	重度肢体不自由者との普段の生活の中でのコミュニケーション取り方について学ぶ	魯山香織 中原しのぶ 加納康行 細井俊一 林崇
	15:40 ～17:10	喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義①	喀痰吸引に関する基本的知識の習得 喀痰吸引が必要な方の身体の状態、緊急時の対応等について学ぶ	齋藤みさを 長谷川信子 香山里美
	17:20 ～18:50	経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義②	経管栄養に関する基本的知識の習得 経管栄養が必要な方の身体の状態、緊急時の対応等について学ぶ	齋藤みさを 長谷川信子 香山里美
研修日程 の2日目 (通学)	9:00 ～10:30	喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義①	喀痰吸引に関する基本的知識の習得 喀痰吸引が必要な方の身体の状態、緊急時の対応等について学ぶ	冷水一江 知念司 平井里実 山縣志穂
	10:35 ～12:05	経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義②	経管栄養に関する基本的知識の習得 経管栄養が必要な方の身体の状態、緊急時の対応等について学ぶ	冷水一江 知念司 平井里実 山縣志穂
	12:10 ～13:10	喀痰吸引等に関する演習	シミュレーターを用いて喀痰吸引、経管栄養の演習を行う。	冷水一江 知念司 平井里実 山縣志穂
	14:00 ～17:05	基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習	衣類の着脱、オムツ交換等、実際に現場で使用する介護技術について実習を行う。実際の現場でのコミュニケーションの取り方について実習を行う。	宮島京子 宮島眞則

17:10 ～19:10	外出時の介護技術に関する実習	車イスに相互に乗車し、移動介助の実習を行う。研修室内、外出、段差の昇り降り等について安全な外出の介護技術を習得する。車イスの安全な操作方法も習得する。	宮島京子 宮島真則
19:20 ～19:50	筆記試験・振り返り	修了試験の90%以上得点したものを修了者として認定	
研修日程の3日目 重度障害者の介護サービス提供現場での実習 （日程は実習先の都合による）		重度の肢体不自由者の介護サービス 提供現場での実習。	宮島京子 宮島真則 宮里清瑚 上原侑子 山本詩織 知念知代 宇久田睦子 親川いづみ

様式第3号(要領第5条関係)

居宅介護職員初任者等養成研修事業講師一覧表

研修事業者名【土屋ケアカレッジ 那覇教室】 研修課程【重度訪問介護従業者養成研修 統合課程】

担当講師氏名	専任又は兼任 ※いずれかに○	担当科目	主な関係資格	資格取得年月日	主な関係職歴	職務経験 年 数	備考
冷水一江	専任・兼任	I 4喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	H6. 2	看護師	25年	
		I 5経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
		II 1 喀痰吸引等に関する演習					
知念司	専任・兼任	I 4喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	H26. 4	看護師	7年	
		I 5経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
		II 1 喀痰吸引等に関する演習					
平井里実	専任・兼任	I 4喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	H12. 5	看護師	34年	
		I 5経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
		II 1 喀痰吸引等に関する演習					
齋藤みさを	専任・兼任	I 4喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	H17. 3	看護師	16年	
		I 5経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
長谷川信子	専任・兼任	I 4喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	H7. 4	看護師	27年	
		I 5経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
香山里美	専任・兼任	I 4喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	S59. 4	看護師	38年	

		I 5経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
魯山香織	専任・兼任	I 1 重度肢体不自由者の地域生活に関する講義	介護福祉士	R3. 4	介護職員	8年	
		I 2 基礎的な介護技術に関する講義					
		I 3 コミュニケーションの技術に関する講義					
中原しのぶ	専任・兼任	I 1 重度肢体不自由者の地域生活に関する講義	介護福祉士	H23. 4	介護職員	15年	
		I 2 基礎的な介護技術に関する講義					
		I 3 コミュニケーションの技術に関する講義					
加納康行	専任・兼任	I 1 重度肢体不自由者の地域生活に関する講義	介護福祉士	H23. 5	介護職員	11年	
		I 2 基礎的な介護技術に関する講義					
		I 3 コミュニケーションの技術に関する講義					
細井俊一	専任・兼任	I 1 重度肢体不自由者の地域生活に関する講義	介護福祉士	H30. 4	介護職員	15年	
林崇	専任・兼任	I 1 重度肢体不自由者の地域生活に関する講義	介護福祉士	H15. 3	介護職員	21年	
		I 2 基礎的な介護技術に関する講義					
		I 3 コミュニケーションの技術に関する講義					
山縣志穂	専任・兼任	I 4喀痰吸引を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義	正看護師	R3. 4	看護師	5年	
		I 5経管栄養を必要とする重度障害者の障害と支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義					
		II 1 喀痰吸引等に関する演習					